

アフリカ地域研究会

京都大学稲盛財団記念館3階 会議室 15:00～17:00

(感染症等の状況によってオンラインでの開催に変更する場合があります)

253

エチオピアにおける国家と民族関係再考：ティグライの視点から

2021年6月17日 第253回

眞城 百華

(上智大学総合グローバル学部・准教授)



MAKI, Momoka



2020年11月、エチオピア政府軍がティグライ州に進軍し、約1月に及ぶ内戦に突入した。紛争地となったティグライ州を支持基盤としたティグライ人民解放戦線(TPLF)は2018年まで政権の中核を担う政党であったが、内戦はTPLFの完全な失権を意味した。本報告では紛争や政治対立の構図、ならびにそれらの背景にあるティグライ民族と中央政府の関係史を再考する。

2021年10月21日 第254回

教示の不在：カメルーン狩猟採集社会における「教えない教育」

園田 浩司

(京都大学アフリカ地域研究資料センター・特任研究員)

カメルーン狩猟採集社会バカの大人が子どもに「教えない」のは、自律の規範があるからなのか。本研究は、大人の教示と子どもの学習について、実際の相互行為を分析することで当事者の視点から引き出す。実際は大人は子どもに「教えている」のだが、「教える・教えられる」関係に閉じようとしないうえにそのように見えない。予測できない出来事に遭遇する自然環境で、学習者と熟練者の間にはどのような関係が纏まれているのかを考察する。

本研究会は2020年度総長数量経費(若手研究者に係る出版助成事業)による成果に基づき、アフリカ研究出版助成記念講演として開催されます。



SONODA, Koji



254

255

2021年12月16日 第255回 水・衛生とサブサハラ・アフリカ

原田 英典

(京都大学アフリカ地域研究資料センター・准教授)

サブサハラ・アフリカには基礎的な水、サンテーション(トイレと尿管理)および手洗い設備を利用していない人がそれぞれ4.0億、6.9億および8.2億人いると推計される。水は人の生活に欠かすべし、サンテーションは人が集まれば大なり小なり生じる問題であり、COVID-19により手洗いは突如脚光を浴びた。水・衛生の意味を今一度考え直し、これをどう社会で実現するか。現場での実践研究に基づき考える。



HARADA, Hidenori

